

**つやま産業支援センター事業基本方針及び
令和6年度事業計画**

～地域経済の活性化と魅力ある雇用の創出・維持、地域課題の解決を目指して～

つやま産業支援センター

つやま産業支援センター事業基本方針

国内経済は緩やかな回復基調にあり、大企業を中心に収益の改善が続く一方で、中小企業では原料等の物価高を上回る賃上げや生産性の向上に至らず、依然として厳しい状況下にあります。

また、本市では少子化や若者の流出に起因する労働力不足、人口減少や企業力の低下による地域経済の衰退が懸念されています。

こうした中、地域経済の活性化を図るためには、チャレンジを地域内で増やすことが肝要であり、加えてグリーントランスフォーメーション（GX）、デジタルトランスフォーメーション（DX）といった成長分野への取り組みが求められます。

特にデジタル化については生産性の向上のみならず、既存の産業構造やビジネスモデルを大きく変えるものであり、企業や組織、地域産業全体のデジタル化に向けて関係機関とも連携・協調し進めて参ります。

また、活性化の「鍵」は地域の外ではなく、むしろ地域内部に潜在しているものであり、この地にある地域資源、ブランド等の活用や事業化をサポートしてまいります。

そして、専門機関による分析を基に地域内のサプライチェーンを強化し、キャッシュアウトを防ぐとともに、地域外や海外から外貨を稼ぐ事業体やプロジェクトを増やし、その成長をサポートすることで、地域経済を成長に導くことができると考えます。

持続的な地域社会の構築を図るには、公民連携、産学官連携など他の機関や企業、学校などとともに歩んでいくことが重要であることも踏まえ、つやま産業支援センターでは次の4つを柱に置いて事業展開を図ります。

- 1 企業の経営力強化
- 2 創業・新事業の促進
- 3 産業人財の育成
- 4 地域産業の強化・事業継続力の構築

令和6年度事業計画について

つやま産業支援センターは令和6年度で設立10年目を迎えます。

当初は地域に外貨をもたらす主力産業である製造業への支援に注力し、様々なイノベーションや脱下請けを実現しました。近年では地域産業のデジタル化や高付加価値化に向けた支援を拡充し、これまでに300社を超える事業者をサポートしています。

築いてきた事業者とのネットワークをベースに、将来性ある産業の育成や、成長力ある企業を増やすための戦略的で強力な取り組みを通じ、質・量ともに充実した雇用の場を確保することが重要な柱となります。

今期は専門機関へ地域経済循環分析を依頼し、キャッシュインを増やし、キャッシュアウトを減らす取組を企画・実施することで、地域内でよりお金が循環する仕組みを構築して参ります。

また、現在はセンターの活動資金の大半を交付金に依存しておりますが、将来的な自立運営を見据えふるさと納税に取組み、地域企業の売上増、及び津山市への納税額増に結び付けます。

地域企業の一番の課題である人材採用について、津山圏域無料職業紹介センターと連携し、新たに採択された地域雇用活性化推進事業（厚生労働省）を活用し、Uターンを含めた人材マッチングを進めます。

事業の4本の柱については継続しますが、特に地域産業のデジタル化や新事業、創業、イノベーションにつながる取組について注力してまいります。

1 企業の経営力強化

技術の蓄積や地域資源など本市の強みを活かし、持続可能な産業基盤を構築するため、各企業の課題解消や目標達成、都市圏等への販路開拓に加えてブランド化や付加価値の高い製品開発等を支援します。

1-1. 高付加価値製品開発及びブランド化・販路開拓

① 革新製品・高付加価値製品開発及びブランド化支援事業 【10,630,000円】

新たな産業の創造や競争力のある新規事業の立ち上げにつながる革新性の高い製品開発、要素技術の開発、ICT 技術などを用いた高付加価値の製品開発、及びブランド化、知的財産権の取得等を支援する。

■補助金によるサポート

事業名	内容
新製品・新技術開発サポート	津山発の新たな産業の創造や競争力のある新規事業の立ち上げにつながる革新性の高い製品開発、要素技術の開発、地域資源や ICT 技術などを用いた高付加価値製品などの開発を支援。
産学官連携による研究サポート	美作大学及び津山工業高等専門学校教員による研究等で市内企業との連携による新技術・新製品開発につながるものを支援。
付加価値化・事業転換サポート	下請け脱却を目指した自社商品開発や独自のアイデアを活かした高付加価値商品開発を支援。
知的財産権取得サポート	企業のコアコンピタンスになり得る知的財産権（特許、実用新案、意匠）の取得費用の一部を補助。

■ブランド化支援事業

ファクトリーブランドに取り組む企業に対し、プロモーションやマーケティング戦略策定など首都圏大学等でサポートし成長を後押しする。

② 販路開拓・パートナーシップ構築支援事業 【12,180,000円】

都市圏や海外市場などへの販路開拓を目的としたテストマーケティングやリサーチに加え、展示会出展やバイヤー等との商談など、販売先とのパートナーシップ構築を支援する。加えて EC サイト構築等 DtoC への取組みをサポートする。

また、補助金については市内企業が市内企業へ発注することを最優先した設計としている。

■補助金によるサポート

事業名	内容
マーケティング等サポート	都市圏や海外市場などへの本格的展開に先立ち行う事前のテストマーケティングやリサーチ、及びクラウドファンディングの経費の一部を補助。
展示会等出展サポート	自社製品などを国内外に発信、販路開拓を行うために、県外及び海外で開催される展示会への出展経費の一部を補助。
海外販路開拓サポート	外国市場の開拓、海外企業との取引拡大などに必要な外国語対応のHP やカタログ等の作成経費の一部を補助。
EC サイト作成サポート	拡大する EC への参画を促進するために、開設費用の一部を補助。
プロモーションサポート	当センターが開発を支援した製品について、販路開拓、市場参入を促進するためのプロモーションツール作成などの経費の一部を補助。

■ 販路開拓・連携促進事業

MADE IN TSUYAMA 製品の全国展開、販路開拓を図るため、デジタルマーケティングや首都圏などの大都市で開催される展示会・催事への共同出展を行う。

高付加価値商品などの製品開発・販路開拓を支援するため、首都圏等のバイヤーを招聘し直接交渉するなど、新規取引や催事開催などにつなげる。

1-2. 生産性向上

① 自動化・省力化促進事業 【17,500,000円】

ICT やロボティクス技術の中小企業への展開、設備投資促進により、地域産業の生産性の底上げを図る。今年度は予算を大幅に増額し、生産性向上を後押しする。

■ 補助金によるサポート

事業名	内容
【拡充】生産性向上サポート	生産性向上を目的としたICTソリューションを新たに導入するための費用の一部を補助。
	生産性向上を目的にロボット導入による自動化を進めるための費用の一部を補助。
設備導入サポート	生産性向上などのために行う設備導入について、岡山県産業振興財団による設備貸与制度を活用した費用の一部を補助。

2 創業・新事業の創出

創業者向けの研修や、人材交流イベントなどを定期開催し、地域外から多様なスキルを持つビジネス人材を呼び込むとともにコミュニティ形成を図り創業を促進します。

また、デジタル活用やDXによるSociety 5.0の具現化、サテライトオフィス誘致、第二創業支援等により、市内産業に新たな活力を生み出すとともに複合化を図ります。

2-1. 創業促進

① 創業者育成、創業ネットワーク形成事業 【4,150,000円】

市内での創業を加速するため、ソーシャルビジネスなど創業者向けの研修や人材交流イベントなどの定期開催を図ることで、創業希望者や創業者、支援者などによる創業者コミュニティを形成する。加えて、高校生・高専生に向けたアントレプレナーシップ研修を実施し、将来の起業家を育成する。

② 技術系創業促進事業 【800,000円】

津山高専内に整備した5G環境を活かしたIoTの実現に資する先端技術によるICT人材の育成や地元企業との新技術の開発及び活用に向けた共同研究などを支援する。

2-2. 新事業展開支援

① 津山版 Society 5.0 実現支援事業 【3,000,000 円】

5G や IoT、AI などの先端技術を活用した新規のソリューションなど、将来の事業化を見据えた開発、及びつやま ICT コネクットの活動を支援することで ICT 技術を核にした新たな価値を創造するとともにデジタル化を促進する。

② サテライトオフィス設置・創業等環境整備事業 【4,550,000 円】

創業や都市圏からのサテライトオフィス設置等、地域貢献性又は成長性の高い新規事業を支援する。

■ 補助金によるサポート

事業名	内容
【新規】創業サポート	創業、第二創業に係るビジネスプランを基に審査を行い、優秀者に対し一定額を補助することで、事業の立ち上がりを後押しする。
サテライトオフィス設置・創業環境整備サポート	デザイン、設計、ICT などの分野での創業やサテライトオフィス設置などについて、その設置費用の一部を補助し開設をサポートする。市内サテライトオフィスで3ヵ月以上の継続利用に限って賃借料を補助する。

3 産業人財の育成

産業や企業の将来ニーズを汲み取った経営者向け研修、産業基盤であるものづくりや IT 分野での技術人材育成を図ります。

また、若年労働者の不足などで地域企業の人材確保の難しさが深刻化している現状を踏まえ、人材の育成・確保のための事業を行います。具体的には、まちなかカレッジによるリカレント・リスキリング、オープンファクトリー、高校生へ技術指導等により地域企業への就業の流れを生み出します。

3-1. 産業人材育成

① 中核人材育成・活用サポート事業

【2,700,000円】

デジタル化を担う企業内デジタル人材の育成を進める。加えて、岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点を活用した中核人材の採用や副業人材の活用、公的機関による専門的な研修受講を支援する。

■ 補助金によるサポート

事業名	内容
デジタル人材育成支援サポート	社員等のデジタルリテラシー向上につながる研修等に要した費用の一部を補助。
プロフェッショナル人材・副業人材活用サポート【拡充】	経営体質の強化や新分野進出などに向けて、プロフェッショナル人材や副業人材など、高度な知識・経験を有する人材活用を行う中小企業を支援するため、賃金等の経費の一部を補助。
長期研修会参加サポート【対象拡充】	公的支援機関などで実施される2日以上 of 専門的な研修を受講する企業について費用の一部を補助。 ソーシャルビジネスの創出を目指し、ボーダレスアカデミーとも連携する。

② 技術人材育成事業

【900,000円】

専門家のほか津山高専や津山工業高校等とも連携し、産業基盤であるものづくり分野の人材育成を図るとともに、高校生の地域内就業を促進する。

■ ものづくり人材育成事業

企業の生産性向上に向けた技術力向上を目的に、CADや金属加工等の技術の習得を目指した研修を行う。

また、津山工業高校の生徒の技術力向上と地域企業への就業促進を目的に、津山

ステンレスネット、津山ステンレス・メタルクラスター会員企業を中心に生徒への技術指導や意見交換会などを実施する。

■ K A I Z E N 活動促進事業

企業の生産性向上につながる改善活動の普及・定着を目的に、QC、IE等の生産管理手法を学ぶ研修を行う。

3-2. 将来を見据えた人材の育成

① まちなかカレッジ運営事業 【13,133,000円】

IT等ビジネススキルの向上、技術や資格の取得からキャリアカウンセラーなどのリカレント・リスキリング、就職相談など、学習から就職支援まで一連の機能を配し、地域経済の成長を支える人材の輩出を支援する。

② オープンファクトリー運営事業 【4,000,000円】

若者の地域内就職及びUIJターンの促進に向け、地域の小中高生を中心に地域の企業の魅力を伝える場として、周辺の5町と連携したオープンファクトリーを開催する。

4 地域産業の強化・BCP構築

専門家によるサポートにより個別企業の課題解決、目標達成を実現するとともに、地域内でヒト、モノ、カネを循環させる仕組みづくりや事業継続計画策定支援により持続可能な産業基盤構築を図ります。

また、地域のステンレス産業のクラスター形成のほか、産学官連携や企業間連携による取組を進め、地域産業の付加価値向上に結び付けます。

4-1. 企業支援体制構築

① 個別企業支援の体制整備事業 【5,500,000円】

ICT活用、GX、生産性向上、事業戦略立案、組織づくりなど、成長に向けた新たな

事業展開や課題解決に資する取り組みなどを専門家や副業人材が個別に支援する仕組み作りを行う。

■ 専門家による個別支援事業

成長に向けた新たな事業展開や課題解決に資する取り組みなどを専門家や副業人材が個別に支援する。

生産性向上、事業戦略立案に加え、特に ICT 導入に注力しデジタル化を促進する。

② 個別企業・製品等の全国発信事業 【900,000 円】

つやま産業支援センターYouTube チャンネルを活用し、企業の取組や商品・サービスを動画にて全国・世界に発信する。

4-2. サプライチェーン・BCP 構築

① サプライチェーン構築支援事業 【3,000,000 円】

津山ステンレス・メタルクラスターによる企業間の受発注促進や、木材産業のサプライチェーン構築を進めることで、モノ・カネの地域内循環を促進する。

併せて専門機関による地域経済循環分析を行う。(地域活性化センター助成金を活用)

② クリエイター等育成・ネットワーク形成事業 【1,000,000 円】

津山クリエイティブ人材ネットワーク (C‘ネット) を中心に地域のクリエイターの育成を図るとともにネットワーク形成や地域内企業とのマッチングを図る。

③ BCP 構築・脱炭素支援事業 【1,100,000 円】

専門家による個別サポートを行うことで各事業者の事業継続力構築や脱炭素に向けた取組を促進する。

4-3. 産業の集積化

■ 金属・ロボット産業形成事業

津山地域の主力産業である金属・機械・ロボット産業の形成や技術の進化に向け、地域の中核的クラスターである津山ステンレス・メタルクラスター（44社）及び津山ステンレスネット（12社）における企業の技術連携や新製品・新技術開発、新分野への製品展開、販路開拓（共同受注）など、更なる成長に向けた取り組みへの支援を強化する。

■ 「MADE IN TSUYAMA」プロジェクト

高い技術とこだわりの品質を兼ね備えた製品を生み出し、全国に発信する「MADE IN TSUYAMA」プロジェクトについて、デザイナーと連携した製品開発と共に専門家による販売戦略策定、販路開拓などを行い、参加各企業のブランド化を推進する。

4-4. 産学官連携の推進

■ 津山高専技術交流プラザ活動支援／美作大学地域生活科学研究所活動支援

市内の学術研究機関である津山高専や美作大学と地域企業との産学連携をサポートし、製品開発や地域内就業などにつなげる。さらに、各校の学生と地域企業の経営者、従業員らとの交流を図ることで、学生の地域企業に対する理解を深め、将来の就職やリターンのきっかけを与える。

5. その他の事業

■ 企業ニーズに基づくコーディネーターによるサポート

- ・ 新商品開発（企画、開発、技術サポート等）
- ・ 生産性向上、生産コスト削減
- ・ 人材紹介
- ・ 企業間ビジネスマッチング
- ・ デジタル化

以上、令和6年度におけるつやま産業支援センター事業計画の概要となりますが、上記の実施に当たっては、日常的に中小企業への情報提供や支援業務を行っている津山商工会議所、作州津山商工会などの支援機関と連動して取り組んでいきます。

また中小企業基盤整備機構や岡山県産業振興財団を始めとする国・県の関係機関、金融機関、その他関係団体などと密に連携することにより、事業承継、事業再生、専門的

人材の確保、国内外の販路開拓など、地域企業の課題解決、さらには持続的成長に結びつけていきます。

6. その他の事業（みらい産業課）

- ・ ふるさと納税
- ・ 津山市中小企業融資制度、マル経融資利子補給、セーフティネット保証
- ・ つやま産業塾（経営能力開発講座、プロフェッショナルコース、市民公開講座）
- ・ つやまロボットコンテスト
- ・ 地域経済循環分析事業
- ・ 企業版ふるさと納税（PRのみ）

7. その他の事業（津山市地域雇用活性化推進協議会）

- ・ 事業所の魅力向上、事業拡大の取組
- ・ 人材育成の取組
- ・ 就職促進の取組

以上